

受賞記念巡回展

令和3年度

鳥取県文化功労賞

橋詰峯子

Hashidume Mineko

工芸（七宝） 鳥取市

和田嘉宥

Wada Yoshihiro

学術（日本建築史） 米子市

鳥取県では平成15年度から、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった方の功労を讃えて表彰し、県民文化の向上発展に資することを目的として、鳥取県文化功労賞を設けています。本巡回展は、令和3年度に受賞された方の功績と活動を広く県民のみなさまに紹介するものです。

中部会場

2022年 1月8日(土)～16日(日)

倉吉博物館 第4展示室

午前9時～午後5時 休館日：1月10日(月)
倉吉市仲ノ町3445-8 TEL:0858-22-4409

東部会場

2022年 1月22日(土)～30日(日)

鳥取県立博物館 第3展示室

午前9時～午後5時 休館日：1月24日(月)
鳥取市東町二丁目124 TEL:0857-26-8042

西部会場

2022年 2月5日(土)～13日(日)

米子市美術館 第2展示室

午前10時～午後6時 休館日：2月9日(水)
米子市中町12 TEL:0859-34-2424

入場
無料

橋詰峯子氏 ギャラリートーク

2022年 1月22日(土)

鳥取県立博物館 第3展示室(鳥取市東町二丁目124)
第1回 午後1時30分～午後2時
第2回 午後3時～午後3時30分
定員 — 各回20名(先着順)

申込
不要

和田嘉宥氏 記念講演

「私説・とっとり建築学」

2022年 2月5日(土) 午後1時30分～午後3時
米子市美術館 第1展示室(米子市中町12)
定員 — 40名
※午後0時30分より会場にて整理券を配布します(先着順)。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記載内容を変更・中止する場合があります。変更・中止などのお知らせは、鳥取県文化政策課のホームページに掲載します。



お問い合わせや詳細は裏面にあり

橋詰 峯子 Hashidume Mineko

工芸(七宝) 鳥取市

1948年生まれ

鳥取市の平面七宝作家・岡垣幸得氏に師事して技法を学んだ後、独立して蓋物を中心とした立体的な有線七宝の作品制作をして現在に至っている。山野草や花を立体感ある図柄で浮かび上がらせた作品は高い評価を得ており、2009年には日本工芸会正会員に認定され、2015年には伝統工芸諸工芸部会展において最高賞である文部科学大臣賞を受賞している。

2016年には鳥取県を代表する七宝作家として、鳥取県指定無形文化財「七宝」の保持者に認定された。

鳥取県美術展覧会においては、2011年から5回にわたって審査員を務めるとともに、2016年から4年間運営委員をつとめ、本県の工芸部門の振興にも尽力している。



和田 嘉宥 Wada Yoshihiro

学術(日本建築史) 米子市

1945年生まれ

米子工業高等専門学校教員として建築産業に関わる人材を育成する傍ら、日本建築史の専門家として、鳥取・鳥根における古建築を研究して地域の文化財の評価を高めるとともに、それらの保存修理に関する指導者としても貢献している。

鳥取県文化財保護審議会委員として30年近く文化財保護及び保護思想の啓発に努めるとともに、鳥取県近代和風建築総合調査などの委員等を務め、貴重な古建築の掘り起こしを行った。

豊富な専門知識に基づいた著作を数多く世に送り出しており、特に『とっとり建築探訪 県民の建物百選』を監修するなど、ふるさとの誇りとなる歴史的建造物を紹介し、その魅力を広く一般に発信する活動も行っている。

○ 会場・アクセス



- JR倉吉駅バスターミナル2番のりばから市内線バスで(赤瓦・白壁土蔵(明治町))下車。もしくは広瀬線・松崎線・パークスクエア線バスで(市役所・打吹公園入口)下車。
- ★ 館内工事のため、出入り口は正面玄関のみとなります。また多目的トイレが使用できません。



- JR鳥取駅から砂丘・湖山・賀露方面行きのバスで(西町)下車。
- 100円循環バス「くる梨」緑コースで(仁風閣・県立博物館)下車。



- JR米子駅から徒歩約15分。
- 米子駅から各方面行きのバスで(市役所前)下車。 ※松江線のバスを除く。
- ★ 車で来館は市役所有料駐車場をご利用ください。受付にて2時間以内無料の処理をします。